

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-317382 (P2005-317382A)

【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-134450 (P2004-134450)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

H 0 5 B 33/24 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

H 0 5 B 33/28 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/12 B

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/24

H 0 5 B 33/26 Z

H 0 5 B 33/28

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 18 日 (2007.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板上に接し、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に配置された複数の発光素子と、

隣合う前記発光素子の間に配置された遮光材料からなる隔壁と、を有し、

前記発光素子は、第 1 の電極と第 2 の電極との間に発光層を含む層が挟まれた構造を有し、

前記第 1 及び第 2 の基板と、前記第 1 及び第 2 の電極と、は透光性を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

第 1 の基板上に接し、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に配置された複数の発光素子と、

隣合う前記発光素子の間に配置された遮光材料からなる第 1 の隔壁と、前記第 1 の隔壁上に配置された逆テーパ形状の第 2 の隔壁と、を有し、

前記発光素子は、第 1 の電極と第 2 の電極との間に発光層を含む層が挟まれた構造を有し、

前記第 1 及び第 2 の基板と、前記第 1 及び第 2 の電極と、は透光性を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、
前記第 1 及び第 2 の基板に、偏光板、円偏光板、又は位相差板を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 4】

第 1 の基板上に接し、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に配置された複数の発光素子と、
隣合う前記発光素子の間に配置された遮光材料からなる隔壁と、を有し、
前記発光素子は、第 1 の電極と第 2 の電極との間に発光層を含む層が挟まれた構造を有し、
前記第 1 の電極は、前記第 1 の基板と接して形成されており、
前記第 2 の基板と、前記第 2 の電極と、は透光性を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 5】

第 1 の基板上に接し、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に配置された複数の発光素子と、
隣合う前記発光素子の間に配置された遮光材料からなる第 1 の隔壁と、前記第 1 の隔壁上に配置された逆テーパ形状の第 2 の隔壁と、を有し、
前記発光素子は、第 1 の電極と第 2 の電極との間に発光層を含む層が挟まれた構造を有し、
前記第 2 の基板と、前記第 2 の電極と、は透光性を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 6】

請求項 3 又は請求項 4 において、
前記第 1 の電極は、炭素及びニッケルを含むアルミニウム合金からなることを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

請求項 3 又は請求項 4 において、
前記第 1 の電極は、炭素及びニッケルを含むアルミニウム合金上からなる第 1 の導電膜上に透光性を有する第 2 の導電膜が積層された構造を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 8】

請求項 4 乃至請求項 7 のいずれか一項において、
前記第 2 の基板に、偏光板、円偏光板、又は位相差板を有することを特徴とする発光装置。